

# カレッジが地域貢献推進

## 住民や企業の要望で講座



第3回



どを開設したり、地域にカレッジの教員を派遣して、国語や数学などの基礎を学ぶ講座を実施したりしている。

同島北部で介護士や看護士を育成するプログラムは、カレッジと地域との話し合いから実現した。このプログラムで養成するのは介護士20人、看護士6人。このように少ない人数でプログラムを運営するのは、カレッジ側としても資金面で負担が大きい。1年間のプログラムを1年かけて作成した。この人材育成が進むにつれて地元雇用が創出され、地域住民の健康が増進するなど、地域への大きな貢献につながったという。

地域連携教育の担当ディレクターを務めるスーザン・オークタロニーさんは、「地域に貢献するために、時代に合った教育を提供するのがカレッジの役目である。本学では、地域住民からニーズを直接聞き、地域に必要な人材育成プログラムと仕事の場を地域の企業人による委員会で共同開発し、企画している」などと説明する。

カレッジが地域住民から支持されるには、教育内容が時代に合っている必要がある。そのための

ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー島・コートネイにあるノースアイランド・カレッジ・インターナショナルの地域貢献活動についてまとめた。日本でも、カレッジによる地域貢献が進められているが、地元住民のヒアリングや地元企業の要望を反映させたカリキュラム開発などが参考になる。

同カレッジは2年制で、提携している4年制大学3年次への編入プログラム

プログラムの教育と、手に職をつけるためのキャリア教育を実施している。地域への貢献の意味では、地域で働く職業人を育成することでその役目を果たしている。

学生も地域住民と柔軟な関係にあり、教育プログラムは、通常の時間帯のほかにも、平日の夜間や土・日曜日にも実施さ

れる。施設も、学生や地域住民が利用しやすいようにすることも、施設の充実を図り、カレッジと地域住民との距離を縮めようとしている。分校での教育や通信講座の実施のほか、高校で大学の単位を修得できる講座として、調理や自動車の整備、水道工事、大工、幼児教育、事務系の仕事など

カレッジが地域住民から支持されるには、教育内容が時代に合っている必要がある。そのための

同島北部で介護士や看護士を育成するプログラムは、カレッジと地域との話し合いから実現した。このプログラムで養成するのは介護士20人、看護士6人。このように少ない人数でプログラムを運営するのは、カレッジ側としても資金面で負担が大きい。1年間のプログラムを1年かけて作成した。この人材育成が進むにつれて地元雇用が創出され、地域住民の健康が増進するなど、地域への大きな貢献につながったという。

カナダでは、先住民への社会参加支援等の支援に、国を挙げて取り組んでいる。その一環として、同カレッジでも先住民のコミュニティを対象に、家の改築の実習を兼ねた講座などを開設している。先住民のミュージアムをつくり、その地域住民に、先住民の歴史や文化、地域の産業、観光などに関する教育を実施し、ツアーガイドとしての仕事も設けた。